

北京シノデンタル 2015 年報告

1. 北京 Sino-Dental、この 3 年間

岡野 友宏（ADF 専務理事）

Sino-Dental はその英語名で国際歯科展示会および学術大会（Dental Exhibition and Scientific Conference）とあり、北京・オリンピック公園に隣接した広大な展示会議施設、「国家会議中心」で開催される。世界中の歯科企業と中国企業・歯科代理店による商業展示があり、また講演会場では本会の後援である北京大学をはじめ全国の大学教授クラスや欧米・日本からの講演など、100 を超える多数の教育講演が行われる。

開会式に先立ち、VIP 室には大会関係者である中国衛生計生委員会（中华人民共和国国家卫生和计划生育委员会）の国際交流センター（国际交流与合作中心）、中国歯科医学会の関係者、北京大学口腔医学院の関係者、世界の主要な歯科企業関係者が集まる。ADF 江藤理事長、専務理事も挨拶に回りながら近況を語りあう。ここから開会式に臨む。衛生計生委員会国際交流委員会の高卫中主任の挨拶があり、その後、展示会場を見て回る。2015 年ではドイツ・シロナからはじまり、米国、日本のブースといくつかの中国企業を巡回し、ブースごとに主要な商品の説明を各企業の担当者が行っていた。



2014 年 北京の国際展示場「国家会議中心」 2013 年 開会式衛生計生委員会高卫中主任



2013 年 展示ドイツブース

2014 年 展示 NSK



2013 年 展示 モリタ



2013 年 展示 GC

本大会の規模は4年に一度のわが国の歯科医学会に相当する。参加者数は5万人を超え、また熱心に講演を聴く若い歯科医師が多いのに感心する。この大会ほどの規模ではないが、同様な展示会・学術大会が上海、成都、広州でも毎年開催されている。中国は歯科医療に大きな市場性を期待されていることの証しでもある。わが国がこの世界一大きい市場で、ドイツや米国と競争して勝ち残ることは容易ではない。日本は最先端技術の開発に遅れをとったとはいえ、その技術力をもってすれば、花形のインプラント材料やCAD/CAMで欧米を超えることは困難ではない。しかしそれには日本を挙げての協力体制が必要である。

さて、わが国は日本歯科商工協会とADFの共催で「日本先進歯科臨床講座」(ジャパンセミナー)を開催してきた。例年、在北京日本大使館の後援を得ている。日本の優れた歯科医療機器・歯科材料を広く、中国の歯科医師に紹介することを目的とした講演会である。講演者はしたがって日本の医療機器・材料を周知した日本人臨床家であることが望ましいといえる。しかし最近、中国でも日本製品を活用するようになり、中国人講師が増えてきた。この開催の準備はADFのセミナー事務局が行う。実際には歯科商工協会の担当者とADFのスタッフが話し合って運営を決めていく。各企業および中国関係者への周知、加えてセミナーにおける希望講演の選択、テーマの調整、参加各社の公平性などを協議する。セミナーを成功に導くカギは講演協賛企業、日本商工協会とADFが協力し合って、「オールジャパン」という姿勢で臨むことである。なお、この数年、セミナー事務局には商工協会からモリタ・土橋氏、吉田・本間氏の両氏が参加されているが、このお二人の活躍で本セミナーが成功しているといっても過言ではない。具体的には8月；商工・ADF参加者と企業からのアンケートを基に問題点と課題の把握、10月；商工・ADFセミナー案作成、企業あての提案文書の作成、11月；商工・ADFセミナー案の改定、再検討案を企業あてに配信、1月；商工講演企業の募集、3月；商工講演企業に講演標題・講師・写真・講師CV(英語or日本語)の提出依頼、ADF；北京の日本大使館への後援依頼とチラシ・ポスター・案内状(中国語)の作成、商工；中国衛生計生委員会への後援依頼、4月；ADF企業へのチラシ送付、各企業主導の宣伝依頼、感謝状の準備、6月；直前打合せと、お二人は主務をこなす中で、ADFでの会議に出席している。



2014 年 江藤一洋理事長による開会挨拶

2014 年 日本大使館西川昌登一等書記官

学術講演のテーマであるが、2014 年、国際企画としてドイツからは CAD/CAM についての系統的な講演、米国から歯内治療や審美に配慮したインプラントに関する講演など、私たちも参加したくなるような講演が目白押しだった。日本のセミナーは 2013 年、2014 年ともに約 200 名収容の会場 2 つを使用して計 8 講演であった。セミナーをどのように構成するかという点ではいくつかの意見がある。より多くの企業が毎年、講演の機会が得られ、個々の講演に余裕ある時間を作るために 2 会場とするという選択肢がある一方、より多くの聴衆に聞いてもらいたいということで、350 名収容の 1 会場とする考えもある。2015 年は試みに後者とした。また過年度のアンケート結果を踏まえ、テーマを決め関連する講演を集めるようにした。午前中をテーマセッションとして審美歯科を設定した。テーマの候補としては先進歯内治療、レーザーの活用、最新の矯正治療、インプラント診療、CAD/CAM などが挙げたが、これらは今後に予定することとした。それぞれに長所短所があるので、次年度以降、参加企業と打ち合わせることとなる。意見があれば是非ともあげて頂きたい。



2015 年 貞光謙一郎先生講演 (GC)

2014 年 会場入口での販促活動



2014 年 熱心な聴講者



2014 年 入口にあふれる聴講希望者

こうした機会を利用して、北京在留の元留日歯科関係者と日本企業関係者、ADF との懇親会が開催される。元留日の先生方が流ちょうな日本語で話され、アットホームで楽しい会となる。2013 年には、首都医科大学口腔医院白玉兴教授がその 4 月に院長に就任され、そのお祝い会ともなった。その折に留日北京同窓会の設立が江藤 ADF 理事長から提案され、白院長が同窓会会長、姜婷（北京大学口腔医学院）が副会長に推薦された。

なお、2014 年の Sino Dental 開催中には北京大学口腔医学院、首都医科大学北京口腔医院を訪問し、それぞれの責任ある立場の人から学校の紹介と診療室の見学をさせて頂いた。同様の懇親会は 2015 年にも開催された。



2015 年 首都医科大学の教授・留日同窓生、企業、日本からの歯科の先生方とともに

さらに 2015 年には中国日本商会医療機器連絡会と日本歯科関連企業との初回の顔合わせが実現した。これは在中国日本国大使館一等書記官の西川昌登氏の仲介による。日本商会は中国政府に認められている組織で、何らかの要望がある場合には日本商会を通じて中国政府に提案できるという点で意味がある。アステラスをはじめとした製薬会社、オリンパ

スやテルモといった医療機器メーカーで、北京での責任者クラスが集まっていた。モリタ森田社長、G C中尾社長も顔をそろえ、いい交流の場となったと確信する。日本を代表する企業との交流を深めることは歯科企業にとって重要なことと思われる。



2015 年 中国日本商会医療機器連絡会の方々との懇親会

Sino Dental は ADF にとって、最重要な催しである。日本企業の出展に対する中国関係者への働きかけ、ジャパンセミナーの効果的なプログラム立案、かつては開催されていたジャパンナイトの復活などにおいて、日本の関係企業を学術面から支援する ADF の役割は非常に高い。今後ともさらなる貢献をしたいので、関係各社には忌憚のない意見を賜りたいと考える。

2. Sino-Dental これまでの営みとこの先

土橋 武史（日本歯科商工協会国際委員・株式会社モリタ）

一社）日本歯科商工協会（JDTA）は、一社）アジアデンタルフォーラム（ADF）の共催で 今日まで Japan セミナーを北京 Sino-Dental にて開催してきました。今までの Japan セミナーついて、その経緯を述べたいと思います。また、日本歯科商工協会の国際委員として日本パビリオンの設置及び運営内容にも関わっていますので、これにも言及いたします。今後の産官学、三位一体になったの海外展開を考えていきたいと考えています。

1. Japan セミナー

2007 年から 2009 年はセミナーの創生期です。第 1 回は Sino-Dental の展示会場であった北京展覧会にて開催されました。ロシア様式の建物で共産主義国での Japan セミナーの開催になりました。異様な雰囲気の中、交流活動の為にセミナー会場内で立食食事準備し、中日歯科関係者の交流活動が始まった瞬間でもありました。



北京展覧会 （以前の北京 Sino-dental 会場）

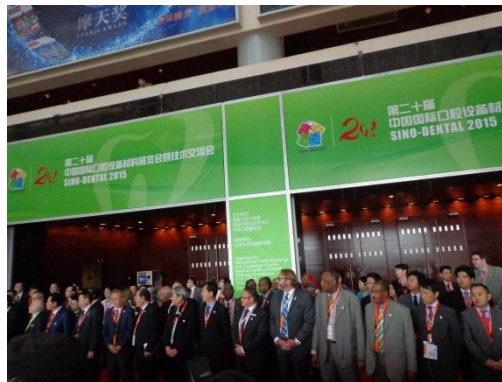


開幕式

2010 年から 2012 年はセミナーの成長期です。会場をオリンピック公園にほど近い国家国際会議センターに移動し、セミナールームが一新されました。同時に日本歯科商工協会が本格的に参入し Japan セミナー設置及び運営にあたりました。セミナーには日系企業が積極的に参加する形になり、企業側からも聴講者の集客や案内チラシを作成、DM など行ないました。当初は 5 講演で終日行われ、この時期から 6 月 11 日が Japan セミナーの日とし中国側これを認識されるようになりました。Japan セミナー終了後には Japan Night を開催し、より一層の中日歯科関係者の交流活動が活発になっていきました。



国家国際会議センター（現在の北京 Sino-dental 会場）



開幕式

2013 年以降はいわば成熟期です。セミナー会場を 2 部屋に変更した時期になります。理由は多くの日本企業がこの Japan セミナーに参加したいと多数の応募があったためです。今まではどちらかというと ADF や JDТА がお声掛けし、日本企業に参加をお願いしていた時期もありました。しかし、Japan セミナーの認知度も上がり、またセミナーに参加される先生方も増え、今年は 300 名の部屋でも入場規制となるほどで、セミナーとして認知され確立されたともいえます。

2015 年からテーマを設定しテーマ内のシンポジウム形式で Japan セミナーを開催しました。この年は最大 350 名収容できる大きな部屋ひとつとし、ADF 江藤理事長の基調講演に続いて 7 つの演題としました。午前中は審美というテーマを設けシンポジウムを開催しました。多くの受講者が集まり、立ち見や座り見が出るほどの盛況なセミナーもありました。中国の歯科医の先生方の真剣な受講態度を見ますと益々中国での口腔健康についての啓発活動は活発になろうかと感じております。日本の最先端高度歯科医療についてセミナー内で演題を掲げ専門的な先生方が言及し、中国と日本の懸け橋となるセミナーが実施されていると自負しております。ただ、今後ドイツやアメリカなども積極的に学術的なセミナーを実施してきているので、Japan セミナーも充実した内容で実施していきたいと思います。

Japan セミナーの設置及び運営で一番苦労したことは、企業のセミナーに対する意見の不一致を、いかに統一感を持って実施するかにありました。各企業によってはセミナーに対するアプローチが全く違い、ADF と JDТА が間を持ち、統一性のあるポスターを作成し、中国の業界団体にも協力を得て、DM などを打ち集客することなどに努めました。日本歯科商工協会（JDТА）がセミナーの場所代を補填しております。今後も日本企業（歯科商工協会）、日本大使館（ジェトロ）、ADF など産・官・学の三位一体で日本チームがスクラムを組んでいく予定です。皆さまの一層のご協力をお願いする次第です。

なお、これまでの講演内容について、表 1 にまとめました。ご参考にして下さい。



2015 年 Japan セミナーの会場の様子



入り口では入場を規制するほど



長蛇の列ができるほどでした



質疑も活発でした



ADF 理事長江藤一洋先生と通訳をした于鋼先生(モリタ南京事務所)

2. 日本村（日本パビリオン）における企業展示

展示会場では日本企業の展示を 1 か所にまとめ、ジャパンパビリオンとして設定しています。同様なことはドイツ、米国、韓国、台湾が行っています。日本にとっては今回で 12 回目となります。第 1 回目の 2004 年では参加日本企業は 9 社で 324 m²での出展でしたが、今年 2015 年の参加日本企業は 14 社で 495 m²の出展となりました。年々日本企業の参加が増え、日本パビリオンは、ドイツパビリオンに次ぐ 2 番目に大きさを誇る国家パビリオンになっています。出展の内容では CAD/CAM、インプラント、矯正関連が多いように感じます。多くの来場者が足を止めて熱心に展示品の説明やセミナーを受講されていました。

ところで、現在のジャパンパビリオンは企業努力で合同出展を行っていますが、ドイツや韓国などは政府からの援助があり、国がらみの輸出振興を行っていると聞いています。こうした国からの支援が得られるよう、私たちも努力したいと思います。



日本パビリオン内最大ブースを設置しているモリタブース



天井に日本風景画を吊るす

日本パビリオンを設置する際に、一番苦労したことは、日中関係の問題もあり、日本の国旗を掲げることは NG であり、試行錯誤した挙句、天井に日本風景画を吊るし、日本パビリオンの存在をアピールすることに努めました。非常に評判がよく日本製品の展示を見たいときは日本パビリオンに行けば見れるという認識が中国の先生方に意識づけることができました。過去には中国衛生部（日本の厚生労働省）の陳副大臣が日本パビリオンにも視察のお越しになられたこともあり、初回は小生が JDТА の代表としてアテンド致しました。中日友好活動、海外渉外活動の一環です。こうした活動を通じて、JDТА は北京シノデンタルの重要なパートナーとして中国側にも認識されるようになったと確信いたします。

今後とも、Sino-Dental でのセミナーや日本パビリオンでの展示では、様々な工夫をしてより一層、中国の先生方を引き付けられるように、努力する所存です。



陳衛生部副大臣、Sunny 女史（中国衛生部国際交流センター）を案内する筆者（土橋） 開会式にて

演題名	演者名	所属	協賛企業
2015年 1会場7講演 講演時間 60分			
适合东方人的美学修复	貞光 謙一郎	貞光 歯科医院	㈱ジーシー
东西方文化的碰撞与交流——源自东方文明的MICD(微创美容)& CCD (舒适美学)	刘 峰	北京大学口腔医学院	㈱松風
牙体缺损美学直接修复的粘接准点和临床对策	岳 林	北京大学口腔医学院	クラレノリタケデンタル㈱
GPS导引技术在口腔种植手术临床的应用	黎 浩斌	一成 歯科医院	㈱ニッシン
口肌训练与正畸治疗	赵 弘	大阪歯科大学歯学博士	㈱トミーインターナショナル
修复美学	温 穎	首都医科大学北京口腔医院	マニー㈱
种植治疗时的维护保养应用	島田 昌明	島田 歯科医院	㈱京セラメディカル
2014年 2会場8講演 講演時間 90分			
新型弾性义齿材料可摘局部义齿临床的应用	冯 海兰	北京大学口腔医学院	㈱ニッシン
临床树脂修复治疗的最新进展	貞光 謙一郎	貞光 歯科医院	㈱ジーシー
全瓷修复的审美概念	山田 和伸	Cusp歯科技研株式会社	クラレノリタケデンタル㈱
前牙粘接桥- 多一个自信的选择	姜 婷	北京大学口腔医学院	サンメディカル㈱
透過MICD,全方位整合性的審美治疗	张 君强	鴻生牙医诊所	㈱松風
全瓷贴面美学修复的适应症及临床实践	马 楚凡	第四军医大学口腔医学院	マニー㈱
全科牙医生零起点学做正畸	赵 弘	大阪歯科大学	㈱トミーインターナショナル
舒适美学牙科引领的牙体预备新理念	刘 峰	北京大学口腔医学院	㈱ナカニシ・上海宇井
2013年 2会場8講演 講演時間 90分			
コンボジットレジンによる日常診療に役立つ修復治療法	加来 慶久	加来デンタルオフィス	㈱ジーシー
Proprioceptive Derivation & Wire Bending	赵 弘	大阪歯科大学	㈱トミーインターナショナル
審美的基準を考慮したオールセラミックレストレーション	山田 和伸	Cusp歯科技研株式会社	クラレノリタケデンタル㈱
ジルコニアでの審美補綴において歯科医と技工士のコミュニケーション	姚紹起	上海精瓷義歯株式会社	㈱ニッシン
マニー製品の特性及び優位性	趙 奇	北京大学口腔医学院	マニー㈱
接着ブリッジ成否のポイント—その設計と操作—	楊 亜東	北京大学口腔医学院	サンメディカル㈱
顕微鏡技術とMICD	王曉燕	北京大学口腔医学院	㈱松風
新たな可能性を秘めた炭酸ガスレーザーの応用	松田 庸	吉田製作所	㈱吉田製作所
2012年 1会場7講演 講演時間 60分			
光歯科治療 炭酸ガスレーザーをインプラント・歯周治療に活用する	田中 真喜	日本臨床歯周病学会	㈱吉田製作所
Modern composite resin restoration approach— How to make it successful in daily practice	加来 慶久	加来デンタルオフィス	㈱ジーシー
自然感を再現するためのマテリアルデザイン～蛍光色の追求	加藤 尚則	Cusp歯科技研	クラレノリタケデンタル㈱
LH矯正法とその接着の鍵	余 建宏	中国医薬大学歯学部	㈱サンメディカル・YDM
The concept and practice of MICD in operative dentistry	王 曉燕	北京大学口腔医学院	㈱松風
Single Visit Esthetic Dentistry:Self-reinforcing All-in-one Adhesive and Wide Shade-matching Resin Composite	二階堂 徹	東京医科歯科大学	㈱トクヤマデンタル
The Clinical Applications of Magnet attachment for implant	田中讓治	日本大学松戸歯学部	㈱ニッシン
2011年 1会場4講演 講演時間 90分			
Innovation in single visit tooth reconstruction“Self reinforcing one-step adhesive and auto-polished composite resin”	田上 順次	東京医科歯科大学	㈱トクヤマデンタル
CAD/CAMジルコニアオールセラミックの審美修復-材料特性を考慮した審美修復	山田 和伸	カナレテクニカルセンター	㈱ノリタケデンタルサプライ
The Clinical Application of Magnetic Attachment for Implant Removable Prosthodontics	洪 昭民	台北大学牙医系	㈱ニッシン
ジルコニアを用いた補綴修復治療-審美と歯の長期保存を達成するための要件	柏田 聰明	東京医科歯科大学	クラレメディカル㈱
2010年 1会場5講演 講演時間 50分			
CAD/CAM-エスティック オールセラミックレストレーション	山田 和伸	カナレテクニカルセンター	㈱ノリタケデンタルサプライ
The clinical progression of adhesive fixation of the mobile teeth	欧陽翔英	北京大学口腔医学院	㈱ニッシン・㈱サンメディカル
最新審美修復がもたらす患者満足～グラディアダイレクトの臨床応用～	梶村幸一	医療法人 碧空会	㈱ジーシー
確実な修復とは	王皓	クラレ上海	クラレメディカル㈱
ハイブリッドタイプ前臼歯対応歯冠用硬質レジン“セラマージュ”	出口幹人	松風	㈱松風

表 1：過去 6 年間の講演の演題、演者とその所属、協賛企業